

高温に伴う農作物及び家畜の管理対策の徹底について

7月30日に新潟地方気象台より「高温に関する北陸地方気象情報第1報」が発表されました。今後、高温が予想されるので、次の管理対策を徹底願います。

1 水稲

- (1) 「コシヒカリ」等は出穂期となっており、出穂後20日間の湛水管理を徹底する。
- (2) 用水の下流域まで十分に水が行き渡るよう、地域での計画的な水利用に努める。
- (3) フェーンが予想される場合は、事前に入水する。

2 大豆

- (1) 最も水を必要とする時期となっており、落花・落莢を防ぐため、降雨に頼らず積極的にうね間かん水を行う。
- (2) アブラムシ類やハダニ類の発生を確認したら、早めに防除を行う。

3 ハトムギ

干ばつに弱いため、葉が巻き始める前に早急にうね間かん水を行う。

4 園芸作物

- (1) 露地栽培では、土壌が乾き過ぎないように朝・夕の涼しい時間帯にかん水する。ただし、収穫が近づいている果樹では、かん水を控える。
- (2) 白ねぎでは、軟腐病の発生を防ぐため、土寄せと追肥は行わない。ただし、8月下旬～9月上中旬に収穫するため土寄せが必要な場合は、朝・夕の涼しい時間帯に行う。
- (3) にんじんでは、は種日の変更を検討する。は種後はスプリンクラ等で十分かん水を行う。
- (4) キャベツ等の定植は、定植直前に苗に十分にかん水を行うとともに、定植後は活着するまでかん水を行う。
- (5) 旧盆出荷の小ギクは、高温による開花遅延を回避するため、夕方に頭上かん水し、ギク上部の気温を下げる。
- (6) 施設栽培では、施設内の温度上昇を抑制するため、妻面・側面の開放、天窓の開閉や換気扇等を活用した換気、遮光資材の展張、細霧冷房等の対策を徹底する。また、土耕栽培では、乾燥しすぎないように適宜かん水する。
- (7) ハダニ類やアザミウマ類等の発生を確認したら、早めに防除を行う。
- (8) 収穫は、涼しい時間帯に行い、収穫した農産物は直射日光に当てないように留意し、常温で長時間放置しない。
- (9) 球根類は、貯蔵庫内が高温となり過ぎないように風通しを良くするとともに、腐敗球等の除去を徹底する。

5 家畜

- (1) 畜舎内の温度を下げるため、換気扇や送風機による換気、細霧装置の利用、寒冷紗やよしずによる日除けや畜舎周辺等への散水を行う。
- (2) 給水器を清潔に保ち、新鮮な水（冷水）を十分に与える。
- (3) 飼料の給与にあたっては、良質で消化率の高い飼料の給与、ビタミンやミネラルの追給に努めるとともに、高温により飼料が変質・腐敗していないか確認する。
- (4) 家畜の観察回数を増やして健康状態を把握し、健康悪化の兆候がないか等、家畜の快適性に配慮した飼養管理に努める。

6 その他

熱中症対策として日中の暑い時間帯は外での農作業を控える。ただし、日中に農作業を行う際は、熱を逃がしやすい衣服を着用するとともに、こまめに水分補給するなど、熱中症等に十分に留意する。

【事務担当】

農業技術課 研究普及・スマート農業振興係 (076) 444-3277
広域普及指導センター (076) 429-5042

高温に関する北陸地方気象情報 第1号

2024年07月30日15時00分 新潟地方気象台発表

北陸地方では、8月2日から6日頃にかけて、最高気温が35度以上の猛暑日となる所が多いでしょう。

【気象概況】

北陸地方は8月2日から6日頃にかけて、高気圧に覆われて晴れる日や暖かい空気が流れ込む日が多いため、最高気温が35度以上の猛暑日になる所が多い見込みです。

【防災事項】

熱中症対策などの健康管理や農作物および家畜の管理に十分注意してください。